2018年4月20日発行（月刊）　発行人／千　万紀子　編集／株式会社エルブ企画係
〈発行〉株式会社 エルブ
群馬県桐生市相生町1-615-2　TEL.0277-55-5075
http://www.herbejours.jp
お客様コールセンター　0120-268-525
受付時間／AM10:00～PM5:00（日、祝祭日を除く）

エルブだより 2018年5月号 98

エルブジュール化粧品 本社美容インストラクター 井田輝美が解説

植物生まれのエルブジュール
化粧品だからこそ叶える

植物の力で「健康な素肌」へ！
紫外線にも負けない美しさを叶えます。

日差しが強まるこの季節、エルブジュール化粧品をご愛用いただく皆様から多く寄せられるようになるのが、「日焼け止めを使わなくても大丈夫？」「ファンデーションを塗らないと日焼けしてしまうのでは？」といった質問です。肌は本来、紫外線のダメージから自らを守り、美しさを保つ力を持っているもの。その力をきちんと発揮するためには、肌が健康な状態でなければならないのです。例えば、健康な体作りに必要なものは何かと考えた時、「食べ物」を思い浮かべる人は多いと思います。普段の食生活でも、なるべくたくさんの野菜や果物、そして無農薬や無添加の食材を手に取りたくなりますよね。実は、スキンケアも同じことなのです。肌本来の機能に働きかけ、健康にしてくれるのは、自然の生命力が詰まった植物の力。35種類の植物や寒天からつくられたエルブジュール化粧品なら、素肌を健康にし、ハリ・ツヤ・透明感のある、紫外線にも負けない美しさを叶えてくれますよ。

エルブジュール化粧品でなぜ健康な素肌になれるのか（エルブジュール化粧品と一般的な化粧品の比較）

一般的な化粧品		エルブジュール化粧品
合成成分を使用しているものも多く、肌本来の機能を低下させてしまうことも…。		植物の有効成分が肌にしっかりと働きかけます。
鉱物油（ミネラルオイル） **合成界面活性剤** その他、保湿剤・香料など ●皮脂膜・肌細胞破壊 合成界面活性剤を使用した洗顔料が多く、汚れだけでなく肌に必要な潤いも取り除いてしまうことが。	汚れ落とし（クレンジング）	**植物油・寒天・精油** ●肌にやさしく、毛穴の奥まで、しっかり汚れ落とし 肌の潤いを保ちながら汚れを落とします。湿潤効果で肌を柔らかくするので、水分や栄養も入りやすくなります。 ●植物アロマの精神的な癒し効果
保湿剤 その他、アルコール・合成界面活性剤・香料など ●長期使用により乾燥・シワの原因に 洗顔で失った水分を補うため、合成の保湿剤などが配合されていることも。一時的な潤いを感じるものの、根本的な乾燥の改善になりません。	水分補給（化粧水）	**植物エキス、保湿のハチミツ** ●植物の力で、肌本来の機能を整える 植物成分が持つ天然の保湿効果で、角質層のすみずみまで水分を行き渡らせます。 ●ノンアルコール、植物アロマの癒し効果
UVケア ●紫外線吸収剤・散乱剤 肌のかぶれやアレルギー・シミの原因に **保湿剤** ●鉱物油・美容エッセンス等には高濃度配合 補給した水分が逃げないようフタをする役割。化学的に合成された成分には浸透性が低いものも多く、肌表面を覆っているだけのものも。合成の紫外線吸収剤が配合されている場合は、肌トラブルを起こすことも考えられます。	栄養・保護（クリーム）	**植物油・寒天・精油** ●植物のエモリエント効果＋寒天の湿潤効果 植物成分が肌を保護。紫外線防止効果を持つ植物成分も含まれています。また、植物成分がしっかりと浸透して栄養を届けます。 ●毎日のこまめなお手入れで ・新陳代謝活性 ・過酸化脂質を取り除く

美容インストラクター 井田輝美が提案する この季節のプラス＋お手入れ

日焼け止めクリームにも負けない効果！アロマ エッセンス クリームは紫外線シーズンには欠かせません。

エルブジュール化粧品の中で唯一アロマ エッセンス クリームにだけ含まれる成分・オウゴン根エキスと甘草フラボノイド。この2つは紫外線防止効果に優れ、炎症を抑える働きを有しています。さらに、ソウハクヒエキスやマロニエエキスなど美白効果の高い植物成分も含まれ、紫外線が気になり始めるこの季節から夏場にかけてぜひたっぷり使って頂きたいアイテムです。ポイントは、朝のお手入れの仕上げにたっぷり多めにつけることと、日中もこまめにつけ直すこと。顔全体の皮脂や汚れをオフしてからつけ直すと、より効果を発揮してくれます。私はモイスチャー ローションを含ませたコットンで軽く肌の表面をきれいにしてからクリームをなじませていますが、こまめに行うことにより、昨年の夏は春よりも白く透明感のある肌で過ごせました。リフレッシュできるので、汗や皮脂汚れが気になるこれからの季節にもおすすめです。